

全国盲学校通信陸上競技大会 ルールについての補足・概要 令和5年1月改訂

1 各種目について

区分	【矯正後の良い方の視力が0.01まで】	
	【その他視覚障害】	
50m走 100m走 200m走	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘導音については各大会で実施されている方法で良い。</li> <li>競技中のコース横での係員の危険回避のための指示や、身体接触は可とする。</li> <li>伴走者は、競技者に推進のための助力を与えてはならない。</li> <li>伴走のためには長さ50cm以内のロープ等を利用する。</li> <li>スターティングブロックの使用を可とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音源誘導の場合は、競技者1名ずつのタイムレースで行う。</li> </ul>
800m走 1500m走	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンレーンも可</li> <li>伴走者は、競技者に推進のための助力を与えてはならない。</li> <li>伴走のためには長さ50cm以内のロープ等を利用する。</li> </ul>	
立幅跳	<ul style="list-style-type: none"> <li>踏み切る前に少しでも足が踏切線から出たら反則とする。</li> <li>計測は砂場の印跡から踏切線まで直角に行う。</li> </ul>	
走幅跳	<ul style="list-style-type: none"> <li>踏切板(線)両サイドに赤いコーンを立ててもよい。(踏切位置の確認のため)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>踏切板は1m×1.25mとし、着地点から踏切地点の延長線との最短距離を計測する。</li> <li>誘導音については各大会で実施されている方法で良い。</li> </ul>
ソフト ボール投	<ul style="list-style-type: none"> <li>3号球を使用する。</li> <li>やり投ピットを使用する。</li> <li>投げ方は自由でよい。</li> <li>誘導音については各大会で実施されている方法で良い。</li> </ul>	
ジャベリック スロー	<ul style="list-style-type: none"> <li>ターボジャブを使用する。</li> <li>やり投ピットを使用する。</li> <li>落下地点の判定は、どの場所から落ちてでも痕跡が残ればよい。</li> <li>誘導音については各大会で実施されている方法で良い。</li> </ul>	
砲丸投	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等部のみ参加とする。</li> <li>男子4.00kg、女子2.721kgを使用する。</li> <li>サークルの直径は2.135m。</li> <li>誘導音については各大会で実施されている方法で良い。</li> </ul>	
走高跳	<ul style="list-style-type: none"> <li>競技者の希望によりバーに目印となる布を掛けてもよい。</li> <li>競技者の協議により競技開始の高さを決定し、原則としてバーは5cmずつ上げる。</li> </ul>	
400m リレー	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女チームについては男女混合になってもかまわない。</li> </ul>	
100m 円周走		<ul style="list-style-type: none"> <li>1周100mの円周コース(軸の中心から半径15.92mのロープを片手で持ち、外方へ引っ張りつつ、円を描くようにして走路を走る。)を1周する。</li> <li>出発線と決勝線は同一の直線とする。</li> <li>走る方向は、左回り、右回りのいずれでもよい。</li> <li>ロープが常時地面と接触したり、ゆるんだままで走ると反則とする。</li> <li>競技者1名ずつのタイムレースで行う。</li> </ul>
400m 円周リレー		<ul style="list-style-type: none"> <li>軸の中心から半径15.92mのロープを上下2本つける。</li> <li>出発線の後方10m(弦)の地点に白線をつけ、第1走者がこの地点に達したとき、審判員の笛と出発線で待機している次走者への背部へのタッチにより出発する。これをバトンタッチとし、以下これに準じ第4走者が決勝線(出発線)に</li> <li>ロープが常時地面と接触したり、ゆるんだままで走ると反則とする。</li> <li>走る方向は左回り右回りのいずれでもよいが、チーム全員が同一方向に走るものとする。</li> <li>リレーの合図(吹笛)は審判員が行う。タッチの合図については審判員、またはコーチのどちらでも良い。</li> <li>1チームのタイムレースで行う。</li> <li>男子チームについては、男女混合になってもかまわない。</li> </ul>

2 その他

- ① 風向・風速等は考慮しない。
- ② タイムについては、手動計時を電気計時に換算して順位を決定する。
  - 50m走・100m走・200m走については、0.24秒を手動計時のタイムに加える。(0.24秒加える作業は全国通信陸上主管校で行う。
  - 記録の掲載は、手動計時の記録(換算したものでないもの)を掲載する。